

石砂山～峰山 山行報告

【山城】 道志山塊（相模湖の南）

【コース】 藤野やまなみ温泉^{いしざれやま}～石砂山～峰山～藤野やまなみ温泉

【日時】 平成29年12月30日（土） 日帰り

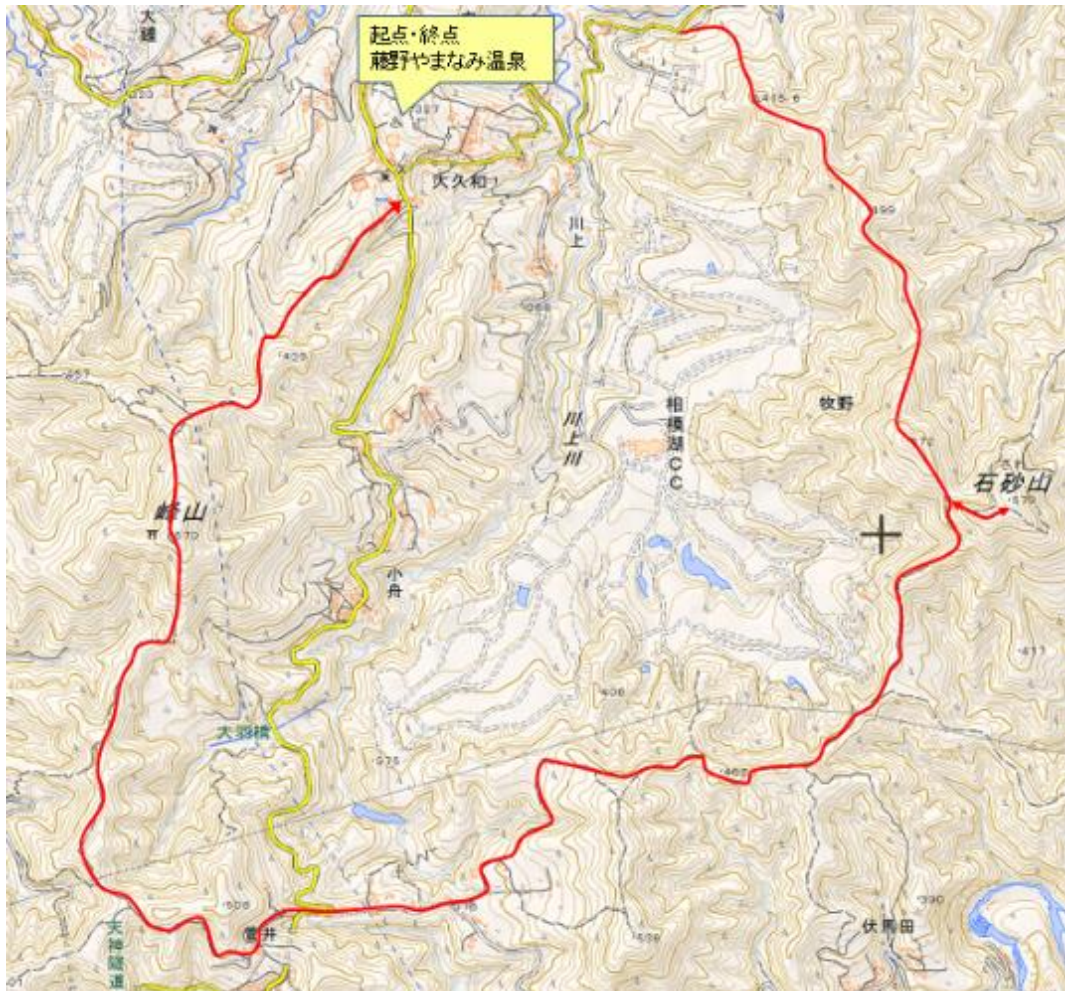
【参加者】 CL 柘植秀樹 SL 鈴木憲二 石橋きよみ 加藤洋子 鈴木愛子（記録）

【コースタイム】

千葉5：10⇒中央道相模湖IC⇒7：20藤野やまなみ温泉7：30登山開始→499mピーク
→石砂山西峰9：30→9：45石砂山頂上10：00→菅井→峰山11：55→藤野やまなみ温泉
12：45着 温泉で汗を流す 藤野やまなみ温泉発14：15⇒16：30頃帰葉

【記録】

当初は、12月30日～31日に阿武隈山城の山を4山登る予定であったが、31日の天気予報が悪くなりそうなので、30日に日帰りで道志山塊の石砂山～峰山を登る事に変更した。



12月30日（土） 天気 快晴

藤野やまなみ温泉に着く少し前に、車の中からとても綺麗な日の出を見る。好天に恵まれそうで、今日、初めて登る石砂山に意欲がわく。藤野やまなみ温泉の駐車場に駐車し、7：30出発。しばらく車道を歩き、ネットの情報で見た、石砂山のバリエーションルートの北西尾根ルートへの取り付きの階段を見つける。階段を登り終わると、すぐ笹ヤブ、尾根を目指して急坂を上る。そんなに深いヤブではない。笹ヤブを過ぎ、うす暗い檜と杉の林を抜け、499mピークに着く。小さな石造りの祠があった。すっかり葉を落とした木々の間から富士山の頭が見え、嬉しくなり元気が出る。

更に歩を進める。急坂の上、枯れ葉が深く積もっている道なき所を登る。枯れ葉が滑り怖い。木々をつかまりながらよじ登る。その時の石橋さんの表現が素敵であった。「落ち葉のラッセルだね」と言っていた。落ち葉が沢山深く積もっていて、踏み固められていないので埋もれてしまい、まさに落ち葉のラッセルをしている感じである。平坦な所での落ち葉の上を歩くのは、嬉しくなっちゃうのだが、急登の落ち葉ラッセルにはまいった。きつかった。



北西尾根の登り口



深い落ち葉ラッセル

大変な思いをして、石砂山西峰に着く。「石砂山西峰」と書いた、誰かが手作りした様な黄色い標識が木に付けてあった。更に歩を進める。石砂山の頂上手前の一般道に合流するまでは、落ち葉ラッセルがあり、落ち葉が少なくなってもきつい登りであった。一般道に合流してからは、それまでと比べると、とても歩きやすくなり、ほっとする。石砂山（578m）頂上に9:45着。山頂からは、富士山、大室山、権現山等々が見えた。



石砂山の山頂



背丈よりも高いススキに囲まれて

更に、菅井、峰山を目指して歩を進める。山頂から20分位歩くと、送電塔があった。この周りは木々を伐採してあり、開けていて、ススキが背高く伸びて、穂がドライフラワーの様になっていて、真青な空の中、映えて素敵であった。

菅井からいったん車道を歩き、峰山登山口の看板に従い登山道に入る。峰山頂上の手前の長い階段歩きがきつかった。峰山（570m）頂上着11:55。山頂に、まあまあ立派な木造りの祠があった。今年1年、無事に登山出来たことに感謝し、来年の登山の無事を祈念し、手を合わせる。



縦走途中から望む峰山



峰山山頂での記念写真

峰山頂上から見えた富士山は、それまでの道々、木々の間から見えていた、頭の部分だけ見えていた富士山と違い、大きく見え、素晴らしい眺めであった。大室山もより大きくりっぱに見え、阿夫利山等々が見えた。



左：大室山 と 右：富士山



左：石老山 と 手前：石砂山

しばし眺めを楽しみ、藤野やまなみ温泉を目指して歩を進める。藤野やまなみ温泉着 12:45。
藤野やまなみ温泉で汗を流し、帰葉。

○今回の山行を終えての感想

冬枯れの山を、暖かい太陽を浴びながら歩けたこと、深く積もった落ち葉の上を歩く「落ち葉ラッセル」をしたこと、うす暗い檜と杉の林があったり、送電塔のある木々を伐採してある眺めの良い開けた所があったり等々、変化があり、きつかったけど面白い山行であった。

○これから石砂山へ登りたい方へ

峰山の頂上にあつた看板に、下記の様な事が書いてありました。

「このコースは4月から10月は山蛭がいるので、十分注意してください」との事でした。

冬枯れの陽だまり山行がお勧めだと思います。